

平成21年9月定例会



平成21年第5回定例会は、9月2日から9月18日までの会期17日間で開かれました。

総額32億2,560万円の一般会計補正予算案や保育所条例の一部改正案など21議案が提出され、企業会計決算認定については特別委員会を設置し閉会中に審査することとし、工事請負契約案の否決1件を除き、そのほかの議案については、いずれも原案どおり可決しました。

また、決議案1件を可決したほか、教育委員会委員の任命について同意しました。

定例会では、各会派の議員など7人が議案や市政全般について質問しました。その概要は、次のとおりです。

問 歳入で、市税の決算額が過去最大となった要因および歳出での義務的・投資的経費の減少の要因。また、財政指標が改善した要因は。20年度の決算見込みを踏まえ、本市の財政状況について、将来をどのように推測、分析するのか。

質問および答弁(要旨) 算見込み 平成20年度普通会計決算見込み (水曜会)

サンピア福山の取得に関する決議(要旨)
広島厚生年金健康福祉センターサンピア福山は、国において、年金・健康保険福祉施設の抜本的見直しのため、施設の売却・廃止を進めることで合意された。これを受け、本市議会は2005年(平成17年)9月に、存続を求める意見書を国会および関係省庁に提出した。その後、本市に対して当該施設の取得意向の確認があったが、財政的負担が大き過ぎるなどの理由で当該施設の取得を一たん断念した経緯がある。こうした中、本年9月29日に一般競争入札に付すとの公告があり、最低売却価格が12億円と、当初本市が想定していた額を大幅に下回る額が提示された。

また、福山市自治会連合会、福山商工会議所、連合広島福山地域協議会から、取得を求める要望書が相次いで市長並びに市議会議長に提出されているところでもあり、本市の都市将来像を見据えた場合、本市がサンピア福山を取得し、広く市民などの意見も聞く中で、緑町公園と一体的な公共施設として整備を行うよう要望する。

※詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

決議案を可決しましたが、9月29日の一般競争入札で福山市は落札することができませんでした。

答 歳入のうち市税については、個人市民税での三位一体改革による税源移譲の影響の通年化、また、固定資産税および都市計画税での家屋の新増築や償却資産の増加などが主な要因と受け止めている。歳出では、義務的経費の人員費が減少、投資的経費で大規模な基盤整備が終了したことなどで大幅な減少となった。財政指標は、経常収支比率は減収補てん債や普通交税率は継続的な公債費削減の取り組み効果などで改善した。今後は、

民主党マニフェストへの対応 (明政会)

- ◆関連質問
- ・2008年度普通会計決算見込みと将来見通し(市民連合)
 - ・法人市民税について(新政クラブ)

財政環境は厳しさを増し、各財政指標も悪化することが懸念されるが、健全で安定した財政運営に努めていく。

問 公共事業については、不要不急の事業、効果の乏しい事業は凍結・削減がうたわれている。本市では鞆港の埋め立て架橋が対象となる可能性がある。この度「鞆地区まちづくり整備方針」を策定し、地域住民に説明会を開き理解を求めたところであるが、民主党政権に対する本市の今後の取り組み方針は。

答 埋め立て架橋事業は、鞆地区が抱えるさまざまな課題を抜本的に改善するものとして欠くことのできない事業であり、大多数の住民が待ち望まれているものである。このことから、凍結・廃止